

先入觀念の洗練

方々七等が地動説を稱えだし、其日も論じ「其前は其翌日は、その人類の宇宙に対する觀念は、どんなに異つたか。そして地動説が一世紀の間權力を爲めに、抑壓せられたといふ事、この事に従じても人間が如何にその先入觀念の洗練を要するか解る。先入觀念の洗練に由つて人類が如何なる影響を受けるかは、それを舉るには煩はしくもあり、或は實根本に至つては一項にし、人間が各々己を知る、と此の三項を引證してみやう。

第一項の人間の解放といふこと、それはそれが呼ばれる人々の幾何なるかを知らざる年月の幾何なるかを知らず、眞に多々なるものである。而かも未だ眞實の解放は來らず、その由る所のもの、一として先入觀念に捉はれたる、一員頭の地動説の例の如きのなさから來る凡百の人間の行爲等も恰も地動説の出現した前日と翌日の如き又賽の河原の石積みの如く、昨日あつて今日なきものと變ることがあるべきだ。

既に根本觀念を異にする所に根入觀念が洗練されて、その生じたる凡百の觀念もその觀念處で人間の智識の進歩、科學の發達に由つて事物に對する先入觀念を固持する暴勇者あるいは科學的實驗に對する誤りの如きの多く多々存するではないか。それが系統的に相錯綜して現在の發達に由つては一世紀間隣接された地動説のそれと逕庭なきもの多々存するではないか。人はその煩瑣なるに堪えさん程である、それに捉はれたる所に異

の人類解放があつてゐるか、茲して生き得る宗教家教育家等の化學家等のその先入觀念に捉はれず

に於てか先入觀念の洗練の要り、それに由つて眞に人類を解り、それで死にふ所以である。放し得るといふ所以である。

第三項の人間が先入觀念の先

を解するといふ所の一部が所謂先輩、教育家、宗

教家、爲政家、民衆等の事

をしてがゝる人達が勢力を得て

くる間は地動説を發見後一世紀

も抑壓し位の事は敢へてする

人達に教養された群衆なのだ

班鳩平次

新波南東講演

第三十三席

蟠軒齋平次に無禮の事

折柄其處へ來ましたのは安達蟠軒齋といふ浪人者で、此頃福島

へ足を駐め、劍術指南の道場を開いて、弟子も三十人あらうといふ先生、近在では大層威張つて居ります。門弟を兩人三人連れまして、蟠軒齋は亭主免せよと應揚に入つて來ました亭主は

といふ出で遊ばせ、とは申しますから、亭主も心中では、又

どうかお上りなされませ「蟠

オ」どうも其方の酒を飲むと他

の店の酒は不味で飲めた亭主は

いふ日はありやしない、真個に斯ういふ人にかゝづちやない

此方のことでも毎度代價といつたら序いで、といふが曆に序

といふ日はあります、眞個の店の酒を飲んで居るやつを眺めて、心に思ひの外、態々無言で平次へ行かれて參れといひ、奥の室へ行かれてする中、例の平次が頻りに

居りませぬ」蟠軒齋は早く持つて飲んで居るやつを眺めて、心に思ひの外、態々無言で平次へ行かれて參れといひ、奥の室へ行かれてする中、例の平次が頻りに

居りませぬ」蟠軒齋は早く持つて飲んで居るやつを眺めて、心に思ひの外、態々無言で平次へ行かれて參れといひ、奥の室へ行かれてする中、例の平次が頻りに

居りませぬ」蟠軒齋は早く持つて飲んで居るやつを眺めて、心に思ひの外、態々無言で平次へ行かれて參れといひ、奥の室へ行かれてする中、例の平次が頻りに

居りませぬ」蟠軒齋は早く持つて飲んで居るやつを眺めて、心に思ひの外、態々無言で平次へ行かれて參れといひ、奥の室へ行かれてする中、例の平次が頻りに

居りませぬ」蟠軒齋は早く持つて飲んで居るやつを眺めて、心に思ひの外、態々無言で平次へ行かれて參れといひ、奥の室へ行かれてする中、例の平次が頻りに

居りませぬ」蟠軒齋は早く持つて飲んで居るやつを眺めて、心に思ひの外、態々無言で平次へ行かれて參れといひ、奥の室へ行かれてする中、例の平次が頻りに

として飲んで居ります。これ

を見た亭主が、「オイ鷹アまた館はいいだ」「ハイ、館は

お客様へ喧嘩を吹き掛けやがる此處に一升ばかりござります。

真個に代價は拂つてはくれぬじあの一合が四文で一升四十文に

加之に來てござるお客様に無禮買つて下さいませ。平「ヨシ、

所にをつたらまな相手にしなければならぬえや」と亭主此處へ館を置いて行け」と五十

は心配しながら膳捲しらへをし。文の錢をやうとする。蟠ア

でをります。平次はかういふことをります。蟠ア

へ置くのは分らねえや」と亭主此處へ館を置いて行け」と五十

は心配しながら膳捲しらへをし。文の錢をやうとする。蟠ア

でをります。蟠ア

進歩して來た

素人寫眞

肖像などをさる場合にでも、

成可く寫度の早いレンズを使つ

て、其人の特徴の現れたせつ那

をねらつて出来る丈けの短い時

間にとると云ふ事が、肖像寫眞

の一番の

目的とするのです。言ひ換

へればこれまでのやうに

肖像をうつす時に、着物の折目

をなをしたり、それもこれも同

じ様に首を同じ位置にすゑさせ

たるする様な事がなく、其人の

見れば如何にも其人をはう帰さ

いたるする様な事がなく、其人の

見れば如何にも其人をはう帰さ

肥料 肥料

作物に肥料は一番大切です、弊店の肥料は

獨逸式で芋、綿、野菜、珈琲、ミリョ等夫々別

の肥料を差上ます、品物は極上有効です

日本人諸君には特に御便宜を計ります

製市 ルアサンベント三十三番二階七號室

九四八

FERNANDO HAKRADT CO

Rua de M. Bento, 33
2 andar sala 7
Caixa, 948 São Paulo,

フエルナンドハツクラト商会

カイシヤ

ラルベシ

モニタルシアルエスターード

エスティード

手紙ノ

ラエニハ

一 御送金の伯貨は當店にて受取可

日本金に換算可

日本内地郵便爲替料、書留料其地通

にて當店に於て負擔致し即全額手數料

金子はコンバロール、郵便爲替又は

銀行手切手にて當店へ御送り被下度候

何れにしても送金申込書は必ず忠

れず當店へ御送り被下度候

一

一

一

一

一

一

一

一